

梅池スキー場・天狗原：山スキー・ゲレンデ滑走報告

【山城】北アルプス：梅池スキー場—天狗原

【日程と天気】2019年1月4日(雪時々曇り)～1月5日(曇りのち晴れ、朝のうち強風)

【メンバー】CL 菊池・田形・加藤・瀧瀬：○郷(会員外)

【行程】

4日：千葉—梅池スキー場：ひよどり山荘駐車場—ゴンドラ—梅の森ゲレンデ滑走1本—林道からツアー開始—早大小屋—成城大ヒュッテ—天狗原手前(2120m まで)—往路を滑走—梅池スキー場ゲレンデ滑走—ひよどり山荘泊

5日：宿—ゴンドラ—梅の森ゲレンデ3本ゲレパウ滑走—スキー場ボトムまで滑走—ゴンドラ—JACKY'S Kitchen (昼食休憩)—梅の森ゲレンデゲレパウ1～2本滑走—ゲレンデ滑走—馬の背下部コース下部—白樺ゲレンデ—スキー場ボトム—道の駅「ほかほかランド美麻」入浴—帰葉



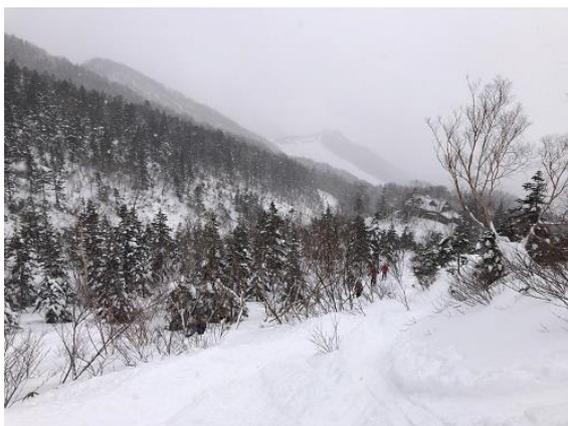
- ・年末年始の冬型は期待したほど強くなく、積雪量の増加は少なかった。梅池スキー場の積雪は1日10～15cm増加し1/4は105cmであった。最上部の梅の森ゲレンデは既にギタギタ状態、足慣らしに一本滑走して10：55ツアーに出発となった。

ガイドツアーなど多くの先行者が入山していた。スタートして間のない林道ルートは鶴

峰からの雪崩多発地帯の下を通過する。雪崩セットフル装備で臨んだが、まだ雪崩れるほどの積雪はない。早大小屋に向かって道路をいったん離れるが、まだ笹が埋まっていなく裏鴨方面の滑走は無理のようである。



再び道路ルートに出て少し進み、橋を渡り、また道路を離れて、先行トレースを辿って、まだ埋まってない沢の右岸を登って行くと、間もなく成城大ヒュッテ前の広場に出た。成城大ヒュッテからシラビソ林の間を縫ってシール登行していくと早くも上部から滑走してくる外国人ペアなどに出会うが、積雪が少なくなかなかテクニカルな滑走です。しばらく進むと漸く開けたエリアに到着、気持ち良く滑走してくるスキーヤーやボーダーにエールを送りました。



まだ藪が少し煩いのですが、パウダーランが楽しめそうです。パウダーランを前にテンションがアップしてきました。新雪は30~40cm、深いところで50~70cmですがその下は固い弱層があります。遅いスタートの我々を追い抜いて行く若者Pもいくつかあります。この日のハイクアップは斜度が



緩むシラビソ林(天狗原の直前) までです。最後はやや急な登りでバランスを崩して転倒した KA さんが深雪にもがいています。(残雪期ツアーでもこの辺は急でルート取りをしっかり考えないと苦勞する部分です)



・エントリーポイントは 2120m でこの先はこんな感じの緩斜面が天狗原に続きます。やや急な深雪斜面、先行シュプールが多数あります。急な小エリアをトラバース気味に進むと雪崩落ちる部分もあり、雪崩ネットで警戒レベルとなっていた通りの要注意日でした。



藪を避けノートラ部分を選んでのパウダーラン、センター107 cmのファットデビューの TG さん、ファットの良さを実感したようです。笹が出ている部分や藪を縫って滑走する



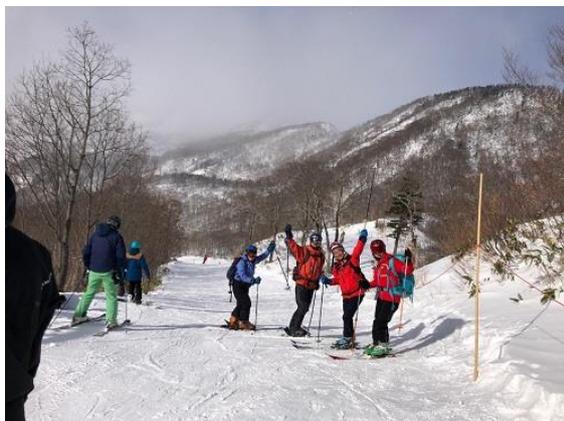
部分も大分あります。今シーズン初滑り TA さん、リズムカルにパウダーランを無難にこなしています。今シーズン初めての、ややまともなパウダーツアー、大腿四頭筋が悲鳴をあげてきていました。雪質が良く滑りやすいゲレンデに出ると皆さん思い思いに気持ち良く滑走、満足の記念撮影です。鐘の鳴る丘ゲレンデで積雪 20 cm ほど、ボトムまで滑走可能状態となり最後まで問題なく滑走できました。



宿はゴンドラ駅に近い「ひよどり山荘」です。食事もおいしくリーズナブルな料金(7200円)に満足しました。

- 2日目の朝は、前日夕方からの降雪が 30 cm 余りのゲレパウ日和、最上部の梅の森ゲレンデは既に多くのシュプールが刻まれていました。外国人が多くボーダーはリフト下り場からエントリー、まだ藪々の林間に次から次へと飛び込んでいました。上に向かって左側には広いノートラエリアが多く残っています。メンバーとともに飛び込んで深雪パウダー練習を繰り返しました。風が強いエリアのため、ややパック気味の満な深雪、ファットでも板は沈み気味、緩斜面は下りラッセル気味で大腿四頭筋への負担大でした。3本パウ

ダーラン練習を行った後、ボトムまで滑走、ゴンドラで再度上がってレストランで昼食休憩。IGさんの知人親子と待ち合わせてしばし談笑しました。昼食後は梅の森ゲレンデトップへ午前中の強風も弱まり天気も良くなり記念撮影しました。



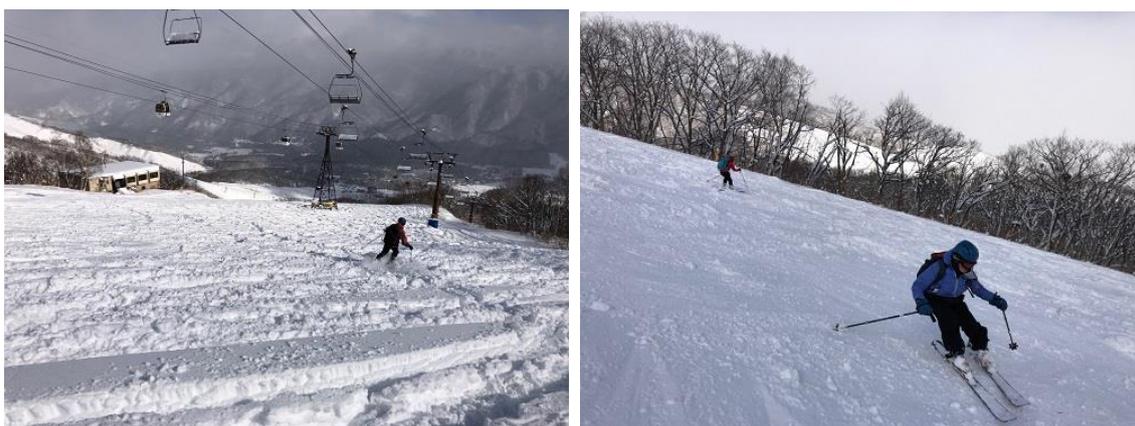
我々はこの日はツアーには行かず、ゲレパウを堪能しましたが、烈風吹きすさぶ午前中から多くの方々がツアー入山していました。最後の梅の森ゲレンデのパウダーランは左端のノートララインです。気合を入れてテレターンを刻みました。今シーズン5回目にして初めての、障害物のないパウダー斜面でのお絵かきができました。



この後元気な 2 名は最後の一本のお替りをし、全員でゲレンデ滑走を楽しみました。体力のなさを実感するように大腿四頭筋がパンパンになってきており、車道(林道)コースをゆっくり滑走し、馬の背コース下部から白樺コースに出るところに到着しました。しぶとく僅かに残っているノトラエリアでお絵かきしました。



そしてギタギタの非圧雪斜面を下りますが、小生のような老体には応える不整地斜面に気合を入れて滑走する女性陣、練習の成果が現れています。



宿で購入した 1 日半のリフト券は午後 1 時まで使用でき 6100 円で割安です。午後 2 時頃にフィニッシュ、満足の 2 日間でした。

- 年末の Hakuba47 と同じように梅池スキー場もしかり、人気のスキー場には外国人が極めて多く活気が感じられ、年々この傾向は強くなってきているように感じる。スキー人口は減少し、スキー場に閑古鳥が鳴いていた感があったが、最近各スキー場は、種々工夫を凝らし入場者の増加に努めているようだ。2 年前の韓国での冬のオリンピックの次は中国が開催地である。多くの中国の若者が日本のゲレンデでボードを楽しんでいるのを目に

するし、欧米人も **japow** を求めて以前からやってきている。3年前に十勝吹上温泉の白銀荘での入浴の時、温泉は多くの外国人でごったがえしていてびっくりした。入浴中の7〜8割は大きな欧米人で、どこにいるのかわからないような妙な気分になった。今回もゴンドラ乗り場に次から次へとやってくる方々は外国人ばかりという時点があり、またまたその **Power** に圧倒された。外国人スキーヤー・ボーダーに刺激された(?)わけではないが、スキー場に足を運ぶ日本人も増えてきているようで、やや活況を呈してきているような気がします。小生も1月1日〜2日に、昔わが子と頻回に通った車山スキー場に長男、二男家族と遊んで、孫を抱えてボーゲンを教えてあげたが、体力的に負担が多く、忍び寄る体力減退を嘆いている。小生のように団塊の世代は子供たちとスキーに興じた方々が多く、孫達がスキーを始める年代であり、多くの家族連れが年末年始にはゲレンデを賑わしていました。

